

羅針盤		
評価対象	評価項目	具体的数値項目
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①ICT教育を推進している本校の教育活動に積極的に取り組んでいると自己評価している生徒が75%以上である。
		②部活動を推進している本校の取り組みに所属生徒の75%以上が積極的である。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	③「授業が分かりやすい」と生徒の80%以上が答えている。
		④資格取得に向けた指導に生徒の85%以上が意欲的に取り組んでいる。
	3 生徒は確かな学力を身につけていますか。	⑤学習に対する達成感・満足感をもっている生徒が75%以上である。
		⑥全商関係の検定試験合格率が70%以上である。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑦学年会議・校務運営委員会・職員会議等で生徒に関する情報交換を毎週実施し、教職員の連携強化を図っている。
		⑧生徒会行事や各種専門委員会など、生徒会活動が充実していると評価した生徒が70%以上である。
		⑨校内の美化・安全点検を各学期に1回以上実施している。
		⑩いじめの防止に努め、いじめの解消率が100%である。
	5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑪家庭との連携を密にして欠席率・遅刻率が1.0%以下である。
		⑫挨拶や服装、遅刻防止指導など学校の生活指導は充実していると感じている生徒が85%以上である。

方策
<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的な授業取り組みを目指した指導の実践</li> <li>アンケートによる調査</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>活動状況及び大会等の成果の確認</li> <li>アンケートによる調査</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>きめ細かい指導の実践</li> <li>授業アンケートによる実態把握</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>検定試験等合格に向けた授業の改善及び補習等の充実</li> <li>アンケートによる調査</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導の充実、定期試験対策補習等の実施</li> <li>アンケートによる調査</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>簿記、情報処理検定試験合格に向けた授業の工夫・改善と生徒の実態に応じた補習等の実施</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>職員会議、学年会議、運営委員会での情報共有</li> <li>アンケート調査</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会・専門委員会の充実</li> <li>アンケートによる調査</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>施設委員を活用した校内巡視による点検後、点検一覧表の作成</li> <li>空き教室利用や机イス等の更新</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめアンケートの実施</li> <li>教育相談アンケートの実施・面接</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な登校時指導、遅刻防止指導の実施</li> <li>保護者への協力・支援</li> <li>欠席・遅刻・早退率の把握</li> <li>10分間読書の実施</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な登校時指導、遅刻防止指導、服装指導の実施・保護者への協力・支援</li> <li>アンケートによる調査</li> </ul>

第1回点検・評価			第2回点検・評価		
自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策
B	A	ICT機器の活用推進と、授業展開の工夫を図る。適正な管理を行い、故障等のないようにする。	B	A	ICT機器を授業に取り入れ分けやすい授業の展開を図る。またそれら機器を使える教室を整備し有効活用していく。
A	A	多くの部活動が活発に活躍した。前半の成果や反省を元に、更なる強化を推進する。	A	A	顕著な成績を積極的に公表し、部活動が活性化することで他の学校生活の充実に繋がるように努力する。
A	A	アクティブラーニングの研修会を実施し、生徒が主体的に学べるよう、授業改善を図る。	A	A	「アクティブラーニング」をテーマに職員研修や研究授業で授業改善を進めてきた。生徒が主体的に学べるように今後も指導方法を研究する。
A	A	資格取得の重要性を新入生オリエンテーションだけでなく、集会等で折りに触れて指導していく。	A	A	資格を取得することが、今後の進路選択にも繋がることを確認させ、真摯な取り組みを促す。
B	B	朝学習や学年補習、部活動単位等の補習を行い、学習につまづきのある生徒に対しての補習を強化する対策を講じる。	B	B	定期試験においてしっかりと学習対策が取れるよう計画的な取り組みをする。部活動との両立にも努力する。
B	-	1学期終了時点では64%であった。2学期以降の検定試験で合格率の向上を図りたい。	A	-	2学期終了時点では73%であった。資格取得に主体的に取り組む姿勢を促す。
A	-	各学年、運営委員会、職員会議等での情報交換を密にし、教書間の連携を深める。	A	-	各種会議で情報共有の重要性の認識を図り、教職員一体となった指導を目指す。
B	A	生徒会行事や文化祭、体育祭において生徒が立案した企画を取り入れることにより、主体的な活動を促す。	A	A	生徒会が主体的に各種行事で取り組める環境作りや改善を進めている。
B	-	毎月1回地域の清掃活動を行い、校舎内外の美化を進める。	A	-	清掃活動ボランティアの募集を積極的に行い、地域の美化に努めていく。
B	C	教育相談アンケートの結果をもとに面談を行い、早期発見・対処を目指す。	B	A	いじめは問題の把握が難しいが、早期発見・早期対処を心がけ、いじめの芽を摘んでいく。
A	A	1学期の終了時点では、欠席率0.6%、遅刻率0.1%、早退率0.1%であった。始業前の朝読書の実施により昨年同時期より遅刻率低下した。	A	A	2学期の終了時点では、欠席率0.8%、遅刻率0.2%、早退率0.2%であった。1学期よりも増加傾向にあるため、粘り強く防止指導を実践する。
A	A	毎朝の登校時指導や集会前の服装確認を行っている。今後も継続し、折りに触れて生徒の意識もさらに高めていく。	A	A	引き続き教職員が連携し粘り強く生徒の指導にあたる。また、今まで以上に生徒の自覚を促す方策を検討・推進する。

※ 自己評価・外部アンケート等：個々の具体的数値項目について評価し、次に従いアルファベットで記入した。

A：数値目標達成、B：約80%達成、C：約60%達成、D：約40%達成

羅 針 盤		
評価対象	評価項目	具体的数値項目
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	6 計画的な指導を行っていますか。	⑬学校から提供される進路情報が役立っていると評価する生徒が80%以上である。
		⑭進路通信を年間10回以上発行し、生徒・保護者へタイムリーな情報を提供している。
7 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	7 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑮「自己の生き方」と「将来の職業」との関連について真剣に考えている生徒が80%以上である。
		⑯進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が80%以上である。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	8 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑰学年別保護者会に積極的に参加している保護者が95%以上である。
		⑱学校説明会、オープンスクール、保護者参加事業等で学校の教育活動を理解できたと感じる参加者の割合が90%以上である。

方 策
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「進路のてびき」の活用及び「進路ガイドダンス」や講演会など外部機関との連携による進路指導の充実</li> <li>・アンケートによる調査</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な「進路たより」の発行</li> <li>・3学年へは具体的情報を提供</li> <li>・アンケートによる調査</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・就業体験等によるキャリア教育の充実</li> <li>・ホームルーム活動や教科における進路学習の充実</li> <li>・アンケートによる調査</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育の充実</li> <li>・早期の進路目標設定と個に応じた指導の実践</li> <li>・アンケートによる調査</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年保護者会等、PTA主催行事への積極的な参加及び行事内容等の充実</li> <li>・ホームページの充実</li> <li>・地域社会への情報提供</li> <li>・地域との文化祭やカルチャー講座等を通じた交流</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化部及び運動部を中心とする各種カルチャー教室の充実や地域諸行事への積極的参加</li> <li>・桐商たよりの配布</li> <li>・アンケートによる調査</li> </ul>

第1回点検・評価			第2回点検・評価		
自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策
B	A	本校の進路指導について生徒も職員も理解を深めるため、ニーズにあった情報発信をしていく。	A	A	進路の手引きを活用した進路指導の取り組みを今後も進めていく。
A	A	進路たよりは1学期末の時点で5号が発刊された。今後も本校の生徒の実態にあった情報発信を行い、進路に対する意識を高める。	A	A	進路たよりは2学期末の時点で8号が発刊された。進路に役立つ学習を含めた情報発信を今後も継続していく。
A	A	就業体験も含め、学年行事等で職業や生き方に関わる学習が可能である。進路学習を職員全体で指導できるように連携していく。	A	A	挨拶をはじめ社会人としての心構えなど学校生活全般から学ばせる指導を継続し、意識付けを図る。
A	A	各学年に応じた進路指導を進路指導部と学年とが連携して行う。今学習していることが、今後の将来にどのように生きてくるか理解させて積極的に取組ませる。	A	A	1年生を対象に卒業生や3年生が自らの進路体験を語る会を実施。早期から進路目標を設定させる取り組みを今後も継続していく。
A	A	3学年保護者会の出席者は、240/243で出席率98.8%であった。他の行事でも多くの参加が出来るよう、内容や実施方法を工夫したい。	A	A	1学年保護者会の出席者は225/241で出席率93.4%であった。2学年保護者会の出席者は234/240で97.5%であった。今後もカルチャー講座や文化祭で地域との交流を図っている。
A	A	学校説明会においては、中学生の96%、保護者の95%が本校の教育活動の理解に役立ったと回答している。ホームページの更新をこまめに行い、本校の教育活動を理解してもらう努力を継続する。	A	B	地域の人々に本校の教育活動が理解されていると思う保護者が88%、生徒が87%であった。カルチャー教室や文化祭など地域の人に本校の教育活動を理解してもらう努力を継続する。

※ 自己評価・外部アンケート等：個々の具体的数値項目について評価し、次に従いアルファベットで記入した。

A：数値目標達成、B：約80%達成、C：約60%達成、D：約40%達成